

2009.1

社会福祉法人信達福祉会

あつかし 荘だより



梁川保育園のみなさんとともに メリークリスマス!

園長ふんするサンタクロースの登場に園児も大喜び

12月22日、恒例のあつかし荘クリスマス会を開きました。伊達市梁川町の梁川保育園児のみなさん34名においでいただき、ホールに集まった利用者の皆さん一人一人と握手をしたあと、童謡の合唱やハンドベル演奏、お遊戯を見せていただきました。また、引率の先生からは手品のご披露がありました。続いて、園児一人一人から利用者の皆さんへきれいなカーネーションの花束のプレゼントがあり、最後に、小野智義・



あつかし荘園長ふんするサンタクロースが登場して、園児達は大喜び。サンタさんから園児の皆さんにプレゼントが手渡され、楽しいひとときを過ごしました。

クリスマス会には、苦情解決第三者委員の佐藤豊治様（国見町）、中川芳明様（桑折町）にもご参加いただきました。皆さまのご協力ありがとうございました。

（写真上）園長サンタが登場
（写真左）一人一人と握手



まごころ・ふれあい・思いやり

あつかし荘は、利用者の主体性と自主性を尊重し、人間としての尊厳に根ざした介護を進めます。

あつかし荘は、家族・地域社会との連携を密にし、あたたかい家庭的環境を築きます。

=リレー —
エッセイ



吉田久俊
介護士

安心できる介護を心がけて

私があつかし荘に勤めてから早いもので10年が経ちました。介護の仕事は大変奥が深く、やりがいを感じている毎日です。また、利用者の皆様をはじめ、ご家族様、地域の皆様、そしてあつかし荘スタッフのおかげで、自分自身も日々成長させていただいていることに心から感謝しております。

今後も、利用者様、ご家族様が安心できる介護を心がけ、少しでも皆様の支えとなるよう頑張っていきたいと思いつますので、どうぞよろしくお願いします。

■これからのおもな行事予定

平成21年1月

- 1日 行事食（正月祝膳）
- 7日 行事食（七草）
- 8日 新年会・テーブルバイキング
～大正琴・オカリナ演奏会～

12日 行事食（成人の日）

- 14日 リハビリ指導

- 19日 ホーム内喫茶・おやつバイキング

22日 書初め

- 22日 阿津賀志食堂

2月

- 3日 豆まき会
- 9日 ホーム内喫茶・おやつバイキング
- 11日 行事食（建国記念日）
- 12日 阿津賀志食堂
- 14日 行事食（バレンタインデー）
- 19日 グループ交流会
- 26日 テーブルバイキング

※日程は予定ですので、変更になる場合もあります。ご了承ください。

あつかし かわらばん

恒例の紅葉狩り 秋の半田山を楽しみました



11月5日、あつかし荘から見える山々も次第に色づき始めた頃、毎年恒例の紅葉狩りに行ってきました。桑折町社会福祉協議会のご協力でバスをお借りし、一路半田山へ向かいました。途中、4号線を南下し、旧伊連郡役所を経由、桑折町の街並みの風景を楽しんで半田山自然公園に到着しました。公園ではバスから降りて、澄み渡った空に浮かぶ真っ赤に色づいた葉を見ながら、おやつをいただきました。深まり行く秋をそれぞれに実感した楽しいひとときでした。この日は、藤田病院の飯野先生がご同行くださいました。ありがとうございました。



大地の恵みに感謝して 干し柿づくりを行いました

11月13日、干し柿つくりを行いました。今年は、あつかし荘裏手の駐車場にある3本の柿も大豊作で約10キロちかく収穫できました。中には300グラムもあるような大きな柿もありました。早速、利用者の皆さんとともに皮をむいてひもを通してみました。多くの皆さんのが慣れた手つきで皮むきをしたため、あつという間に作業は終わりました。あとは、寒い風にあてて乾燥させ、みなさんでいただく予定です。今からできあがりが楽しみです。



▲福島大学の学生（等真左）と柿むき作業に精を出す利用者のみなさん

「介護の日」を記念して 名鉄レストランの食事会

11月11日「介護の日」を記念して、東北自動車道下り線・国見サービスエリア内の国見名鉄レストラン食事会が開かれました。

この訪問は毎年恒例となっているもので、今年で6回を数えました。スタッフの皆さんのが心をこめて調理していただいた白石うーめんとはらこ飯など本格的な食事を提供してくださいました。利用者の皆さんには、いつもとは違うレストランメニューに大満足でした。ほかに特どらやきなどのおやつもいただきました。名鉄レストランの皆さん、ありがとうございました。



今月の ワンポイント 介護

食べる

食べる喜びは、生きる喜びにつながっています。食の充実をはかることは、利用者のQOL（生活の質）を高める上で重要です。しかし、老化によって徐々に、「そしゃく」「えんげ」といった「食べる力」が落ちてくることも事実です。

食事をおいしく食べるには、本人の食べる意欲を低下させないことが重要です。たとえば、食事をみて番りをかいいで食べたいと思えるような五感を刺激する食事。食習慣や生活圧、郷土色を生かした食事。あるいは四季を感じる食材を取り入れた食事は食欲をそそり、豊かな食生活につながります。食欲が低下しているときは、好物を差し上げるのもよいとされています。また、認知症の方には、食事ができる身体状況かを確認した上で、集中力を妨げないために静かな環境で食べる、食器の数を少なくする、介護者が利用者の視野に入らないなどの方法が有効な場合もあるとされています。

（参考『ふれあいケア』2008.12）

国見町藤田の氏家さん 大正琴の演奏会ひらく

12月18日、国見町藤田の氏家重子様が、お仲間三人と大正琴の演奏会をしてくださいました。大正琴は「琴名流名古屋大正琴研究会」の流派で、教授師範の山田洋子様も同行されました。氏家様はかつて夫君が長くあつかし荘で過ごされたことがあります。そのお札にと演奏会を開いてくださいました。

唱歌や民謡など懐かしい曲も含めて1時間弱の演奏に利用者の皆さんには静かに耳を傾けておられた様子です。氏家様ありがとうございました。



▲懐かしい大正琴の音色に耳を傾けるみなさん

その人らしい暮らしを支援する

あつかし荘では、平成18年度より認知症介護プロジェクト（介護士3名、看護師1名、相談員で構成）に取り組み、20年度は3年目を迎えました。12月16日に認知症介護全体研修会を開き、一年間のプロジェクトを中心に施設全体で取り組んだ認知症介護を振り返りました。

【あつかし荘全体の課題】

- チームワークを大切にし、情報の共有化、対応の統一化のための話し合いをもつ。
- 個人を尊重した個別ケアを行うために、介護技術の習得とゆとりの時間をもつ。
- リスクマネジメントを理解し、個人の環境を整えていくため家族とより密な関係づくりを行う。
- その人らしく快適な生活を送ることができるための環境づくりと適切な対応方法を身につける。

【あつかし荘の活動の進め方】

- あつかし荘の利用者の実際の生活に認知症介護を活かしていく。
- プロジェクトメンバーだけの活動にとどめず、グループ・事業所・施設全体のチームアプローチで進める。
- あつかし荘全体の20年度の全体目標を「認知症高齢者とのコミュニケーション技法の習得」とする。

【成果】

ケアプラン

すべての利用者に対してDC (Dementia Care) アセスメント(認知症についてのアセスメント)を行い、行動障害の観察と分析を行いました。毎日の過ごされ方など配慮し、計画的に働きかけを行うなど、適切な対応を検討し、ケアプラン（サービス内容）に活かしました。

チームアプローチ

認知症をもった利用者へのチームケアを行いました。まず、プロジェクトでグループごとに事例検討を行い、アセスメント、プランを立案し、チームアプローチを行いました。

今後は、利用者全員を対象に、その人を知る取り組みを続けていきたいと思います。

コミュニケーション

「好ましいコミュニケーション」「好ましくないコミュニケーション」を意識しながら、認知症のある利用者とのコミュニケーション技法を身につけることを目標に、3回にわたる自己評価アンケートなどを実施して職員各個人の改善目標にそって対応を確かなものにしました。

利用者の生活の変化

職員がコミュニケーションのための時間をつくることにより、他利用者さんとなごめる雰囲気ができました。帰宅の希望がみられるときにはドライブや散歩にお連れし、また、睡眠時間や排便間隔などをつかみ行動障害との関わりを考えました。役割を持って、無理のない範囲で活動していただきました。



あつかし荘●ケア情報 plus

新しい認知症ケアへの挑戦

認知症であっても最期まで自分らしく

厚生労働省の推計では、介護・支援を必要とする認知症高齢者は2015年までにおおよそ250万人になると予測されています。認知症の主な症状のひとつは「物忘れ」です。健康な人の物忘れは、たとえば「うっかり約束をすっぽかしてしまう」「しまったはずの印鑑をどこにしまったか思い出せない」などですが、「約束をすっぽかしたこと」「しまい忘れたこと」という出来事は覚えています。つまり自分が忘れているということは覚えているのです。

一方、認知症による物忘れは、たとえば「約束したこと自体を忘れる」「印鑑をしまい忘れたこと自体を忘れる」というものです。したがって、認知症高齢者の場合、「約束していない」「印鑑がなくなった。盗まれた」となります。これは、認知症の物忘れが「経験（体験）の喪失」といわれるとおり、自分が忘ること自体を忘れて、思い出せない、自覚することができなくなっているからです。このように、健康な人の「物忘れ」と認知症による「物忘れ」は異なります。

そして、認知症の物忘れは、個人の認知機能にも支障を生じ

させます。認知機能とは、人が誰でも持っている、物事を考えたり、判断したり、理解したり、計算したり、見当（日付や場所などがわかること）をつけたりする能力のことです。認知症になるとこの能力が障害されるため、自分で生活を支障なく送ることが困難になるのです。



しかし近年、現場や研究の試行錯誤を通じて「これまでの旧いケアを刷新し、新しい認知症ケアにみんなで取り組めば、認知症の人も最期まで自分らしく暮らし続けられる、本人の関係者が可能性や希望をともにはぐくめる」それが実現可能な時代となりました。施設と家族、地域が新しい考え方を共有し、共に取り組んでいくことが求められているといえます。

<http://www.dcnets.gr.jp/>

<http://www.e-65.net> など参照

▲11月21日、藤田小学校5年生があつかし荘を訪問。器楽演奏や紙芝居などを通じて、利用者との交流をしました。

あつかし掲示板

■ありがとうございます！

●ボランティアの皆さん

【国見町】国見町婦人会連絡協議会、啓音の会、退職公務員連盟伊達支部女性部、国見名鉄レストラン、菊地キミエ、宍戸京子、岩崎京子、藤田小学校5年1組のみなさん、国見町寿クラブ連合会女性部（雑巾・タオル等200枚寄贈）、酒井恒子（衣類等寄贈）

【桑折町】桑折町連合婦人会、伊達崎婦人会、小山美紀子、桑折JA女性部

【伊達市】メガネセンター伊達店、梁川保育園のみなさん

◆あつかし荘ではボランティアさんを募集中です。ご協力いただける方のご連絡をお待ちしております。

●学生さん等の実習

ニチイ学館、福島介護福祉専門学校、県立福島北高等学校、福島大学人間発達学類（以上、平成20年11月～12月、敬称略・順不同）

Interview part7



斎藤晶夫さん
介護士

広報班では、あつかし荘の若手職員をインタビュー形式でご紹介しています。第7回は介護士の斎藤晶夫さんです。

ー血液型は？

A型

ー趣味は？

ゴルフ、ドライブ

ー好きな食べ物は？

すし、焼き肉など

ー好きな有名人は？

有村智恵（プロゴルファー）、真木よう子

ー休日の過ごし方は？

ゴルフ、ショッピング

～社会福祉法人信達福祉会サービス評価をうけて～

あつかし荘のサービス改善に向けて始動

11月18日、法人サービス評価事業が実施されました。これは、各施設のサービス評価委員が、互いの施設を評価しあうものですが、あつかし荘は、具体的には「環境づくりや地域との交流は定着したが、サービスの質の向上に向けて計画化していく必要があり、チームワークを生かし、施設全体で課題を共有して解決していくことがサービスの質の向上に必要な条件である」との講評を受けました。この結果を受けて、あつかし荘では早速改善に向けての体制等を検討し、次のような具体的な計画を立てて始動しました。

(1) 全職員がサービス評価を念頭に、あつかし荘の課題を共有し、今までの取り組みの振り返りを行う。～個人アンケート1月7日回収、1月15日（木）に全体会議を開く～

(2) 各部署や委員会、班等の反省に基づき、今後の方向性を決めるとともに、新年度、サービス改善に向けた、「カイゼン委員会（サービス改善委員会）」を新規に立ち上げる。

ご家族の皆様には、お気づきの点がありましたら遠慮なく職員にお申し付けくださいますようお願いいたします。

このほど社会福祉法人信達福祉会は、(財)21世紀職業財団の「職場風土改革推進事業実施事業主」の指定を受けました。当法人の育児・介護休業等に関する規定等に基づき、職員が安心して働けるよう、仕事と家庭の両立を支援するための環境を整え、子どもの年齢、家族の状況やライフスタイルにあわせた多様な働きかたを推進します。

社会福祉法人信達福祉会

職場風土改革
推進事業

編 集 後 記

◆新年あけましておめでとうございます。昨年は何かとお世話になりました。本年も職員一同せいいっぱい努力してまいりますので、かわらぬご支援をいただきますようよろしくお願ひいたします。

◆昨年は、たくさんのボランティアさん、

実習の学生さん、小中学生のみなさん、そして地域のみなさんにご訪問いただき、

あつかし 荘だより

2009年1月5日

編集●あつかし荘広報班

発行●社会福祉法人信達福祉会 特別養護老人ホームあつかし荘

〒969-1642 福島県伊達郡桑折町大字北半田字一本木前5-2

TEL024-585-5610 FAX024-585-5611

URL <http://www.shintatsu.jp>

E-mail:atsukashi@shintatsu.jp

介護サービス情報公表事業

あつかし荘の基本情報と調査情報が公表されました。 <http://www.kai-go-fukushima.info/fukushima/>

苦情相談 受け付けます

あなたやあなたの家族などが、現在ご利用されている当事業所の福祉サービスについてご相談等がありましたら、ご遠慮なく「苦情受付担当者」もしくは「第三者委員」にお申し付けください。

【苦情受付担当者】

処遇部長 鳴原 誠

生活相談員 宮戸 克己

【第三者委員】

弁護士 千葉 和彦さん

介護保険運営 佐藤 豊治さん

協議会委員 中川 芳明さん

【苦情解決責任者】

施設長 小野 智義

居宅

あつかし荘指定
居宅介護支援事業所



佐藤奈穂子

管理者兼介護支援専門員

みなさん、こんにちは。

あつかし荘指定居宅介護支援事業所の佐藤です。

居宅介護支援事業所は主に、

○介護保険の申請手続きの代行

○ケアプランの作成

○各種サービスの情報提供などを

行うところです。

ご自宅でいろいろなサービスを利用しながら安心して生活できるようお手伝いしますので、介護に関する相談、困りごと等ございましたらお気軽にお電話ください。ご相談は無料です。

あつかし荘指定居宅介護支援事業所

電話 024-585-5610

利用者のみなさんもたいへん喜んでくださいました。心より御礼申し上げます。